

SGHの学び多彩に

関高生 1年間の研究発表



関高校（関市桜ヶ丘）は二十一日、県指定事業として取り組んでいるスーパードロバルハイスクール（SGH）の課題研究発表

会を同市文化会館で開いた。一年生は「関の刃物を世界に売り込もう」をテーマに、二年生はクラスごとに課題を設

ベトナムでの研修について発表する生徒たち
|| 関市文化会館で

定して一年間、研究に取り組んできた。英国や北海道・礼文島でのフィールドワークの発表もあった。

ベトナムの高校を訪問したチームは、現地の生徒と交流した様子を英語で紹介。英語の流ちょうさや教育水準の高さに驚き、人柄の温かさや元気が魅力だったと発表した。刃物の発表を終えた一年の大西智哉さん

（左）は「関の刃物は人気だと思っていたが、意外と知名度が低いのではと気付いた。美容師にターゲットを絞り、製品の長所をわかりやすく伝えた」と振り返った。

（本間貴子）

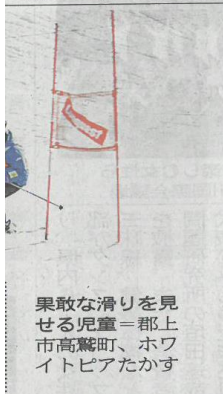
研究成果、英語で発表

関高生徒 街活性化など取り上げる

スーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されている関高(関市桜ヶ丘)の本年度課題研究発表会が、同市桜本町の市文化会館で開かれ、1、2年生が研究内容を発表した。

同校では、クラス単位でさまざまな課題を研究、毎年1回成果を発表している。各クラスの代表数人ずつが壇上に立った。

会場には1、2年生



果敢な滑りを見せる児童＝郡上市高鷲町、ホワイティピアたかす

全員560人が来場。1年生は刃物関係の発表をテーマに発表。2年生はテーマを広げ、美濃市の活性化、LGBT(性的少数者)の権利などについて英語でスピーチした。

また、1、2年合同発表も交え英語で発表した。(田島豪人)



ベトナムでのフィールドワークの成果を発表する生徒＝関市桜本町、市文化会館